

富山市教育委員会会議録
令和7年6月定例会

1 日 時 令和7年6月25日(水曜日)

午後 1時30分 開会

午後 2時00分 閉会

2 場 所 Toyama Sakura ビル8階 教育委員会室

3 出席委員	教 育 長	宮 口 克 志
	委 員	若 林 啓 介
	委 員	藤 井 久 丈
	委 員	高 田 健
	委 員	石 動 瑞 代

4 説明のために出席した者

事務局長	野 嶽 誠 司
事務局次長（総務・社会教育担当）	高 田 興 真
事務局次長（学校教育担当）	河 原 弘 幸
事務局参事（施設管理担当）	佐 伯 誠 司
教育総務課長	竹 内 孝
学校再編推進課長	山 崎 悟
学校施設課長	高 波 宏 明
学校教育課長	大 窪 智恵子
学校保健課長	舩 田 恵 美
生涯学習課長	加 藤 孝 一
教育センター所長	山 岸 朋 子
市民学習センター次長	備 後 淳 一
科学博物館長	笠 間 信 行
郷土博物館長	耕 作 優

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹	高 岡 太 郎
---------	---------

教育総務課長代理（管理係長）
教育総務課主任

塚 本 紘 己
福 島 魁 人

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

（１）議 案

議案第29号 富山市社会教育委員の委嘱について
議案第30号 富山市公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第31号 富山市市民学習センター運営協議会委員の委嘱について

（２）報告事項

報告事項18 令和7年6月市議会定例会における質問の概要について

（３）その他

その他8 富山市科学博物館特別展「光の世界」
その他9 富山市郷土博物館企画展「千歳御殿－幻の館を探る－」

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 5月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] （意見なし）
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

- [教育長] 議案第29号～31号は、付属機関の委員の委嘱に関する案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 承認を得られたので、議案第29号～31号については非公開とし、その他9の後に行うこととする。

【報告事項18】

- [教育長] 報告事項18について、事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項18について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [若林委員] 博物館等施設の入館料等について、質問の意図は何か。
- [生涯学習課長] 文化財施設を含めた富山市の観光施設入館料が、近隣と比べて廉価ではないかという意見があった。教育委員会としては、引き続き現在の料金のままとしていきたいと回答した。
- [高田委員] 部活動地域展開について、対象は運動部の印象が強いが文化系部活動も進めていくのか。
- [学校教育課長] 文化系部活動では、主に中学校の吹奏楽部で休日の部活動が必要と捉えられており、その他の文化部活動については、今のところ考えていないという学校が多い。吹奏楽部がすでに地域クラブへ移行しつつある学校は、保護者を立ち上げてサポートしてもらっている。そのような事例を参考にしながら、どのような形が自校に合っているのか検討している学校が多いと思う。
- [教育長] 中学校の文化部活動の地域移行については、可能な学校から移行することを検討している。
- [藤井委員] 特別支援学級について、特別支援学級におけるセラピストは、主に理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等を指すのだが、作業療法士を積極的に配置するべきという、この質問の意図は何か。
- [学校教育課長] 岐阜県飛騨市では、学習でつまずいたり人間関係で悩んでいたりする子どもたちに寄り添いながら、それぞれの個性に合わせて支援をする「学校作業療法室」という取組を行っており、作業療法士が市内8つの小中学校を月に2回程度巡回している。そういった取組を他自治体が行っているという情報を知り、富山市でも作業療法士に学校へ来てもらい、教員だけでは気付かない何らかの支援方法をアドバイスしてもらえるのではないかという意図であっ

た。教育委員会としては、作業療法士に特化したものではないが、県立特別支援学校との連携、市教育委員会臨床心理士の特別支援学級要請訪問など、現在整えられているサポート体制を十分に活用していきたいと回答した。

[石動委員] 児童の登下校の安全対策について、全国的に登下校中の児童に車が衝突したという事件が相次いでいるが、富山市内の保護者や見守り隊から、不安や安全対策の強化を望む声は上がっているか。

[学校教育課長] 安全性に関する危機感はあると思う。しかし、そのような調査を行っていないため、実情を答えることはできない状況である。

[石動委員] イエナプラン的教育や ICT 活用の促進に関して、理解度や習熟度を精査することは難しいと思うが、生徒の主体性や教員の意識の変化について、何らかの形で調査をしているのか。もしくは検討していることがあれば教えてもらいたい。

[学校教育課長] 調査ではないが、学校教育課と教育センターで学校訪問研修を行っている。授業の様子を確認したあと、指導主事が直接助言する形で指導している。

[河原事務局次長] 補足になるが、学校訪問研修には教育長及び管理職の事務局職員等も訪問し、校長と面談している。その中で、教育長から子どもの情意面や意見も聞きながら授業を作っていくなど、各学校の実情に応じたアドバイスをしてもらっている。

[石動委員] 学校訪問研修を重ねて、少しずつでも変化の広がりを実感しているか。

[河原事務局次長] 教員の中で授業を変えていかなければならないという、問題意識の共有を始めて間もない学校と、かなり進んでいる学校の差はあるが、機運は十分に醸成されてきている。また、人事異動等で実践力を持った教員の交流もあり、少しずつ市内全体に広がってきていると思う。

[教育長] 現行の学習指導要領が全面実施されてから、小学校は6年目、中学校は5年目になる。学習指導要領は約10年ごとに改訂されるので、現在は次期学習指導要領の改訂作業の時期だが、その段階で未だにその程度の広がりかという状況があるのは事実である。次期学習指導要領の趣旨は、現行の学習指導要領の趣旨を踏襲し、より一層充実したものにしていくという方向である。富山市だけではなく、全国的に進めている方向性が大きく変わることはないと思うため、現在の取組をしっかりと後押ししていきたい。

その他、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

【その他 8、9】

[教育長] その他 8、9 について、事務局から説明を求める。
[科学博物館長] （その他 8 について説明）
[郷土博物館長] （その他 9 について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

【議案第 29 号～31 号】※非公開案件

[教育長] （議案第 29 号～31 号について事務局から一括して説明を求める。）
[生涯学習課長外] （議案第 29 号～31 号について一括して説明する。）
[教育長] （議案第 29 号～31 号についての採決について、各委員に諮る。）
[各委員] （議案第 29 号～31 号について同意する。）
[教育長] （議案第 29 号～31 号について、原案のとおり可決したことを報告する。）

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。
[各委員] 質問等なし。

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。